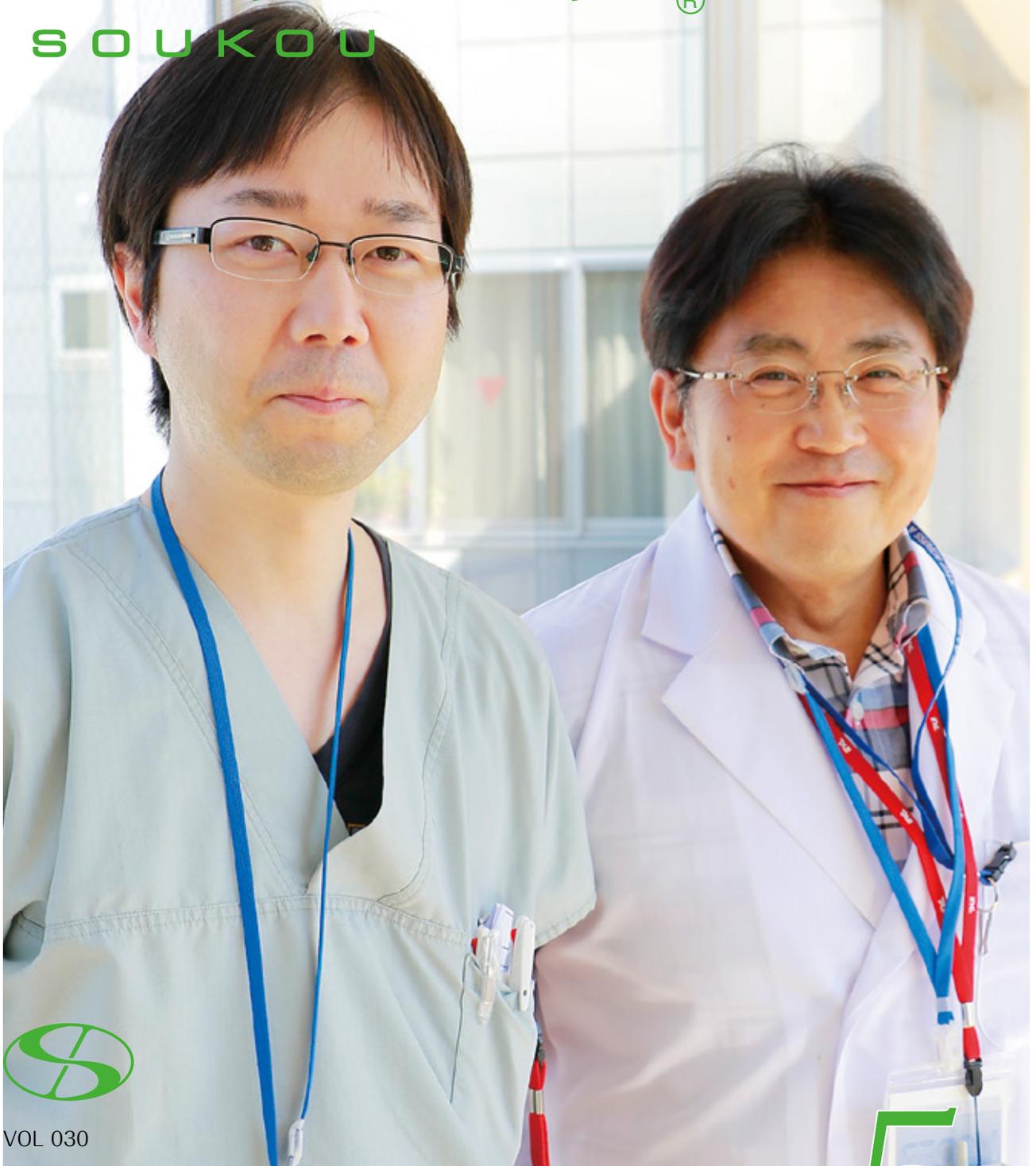


「この街」のために。「あなた」のために。

2017年5月号(月刊) 発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院

そうこう[®]

SOUKOU



VOL 030

Da Vinci ~ロボット支援手術について~

Close-up 泌尿器科

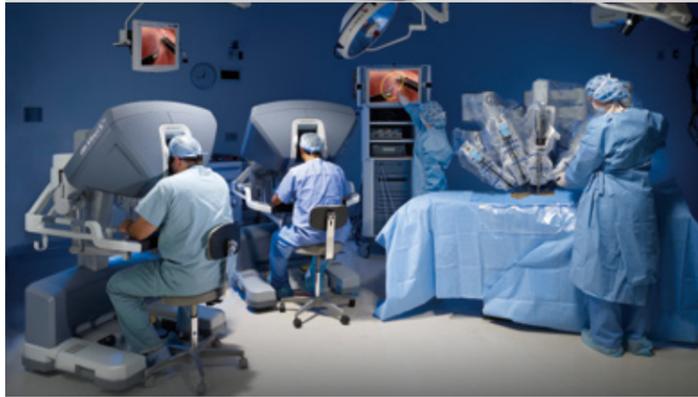
Column&News&Topics

5月

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111



ダヴィンチ

DaVinci

ロボット支援手術について

泌尿器科/ロボット手術認定医師・澤田陽平



はじめに

2016年4月より行田総合病院で勤務させていただいています泌尿器科の澤田と申します。

昨年より泌尿器科常勤医が2人から4人へと大幅増員され、それに伴い尿路結石・前立腺肥大症手術とともに泌尿器科がん、特に前立腺がんの手術件数が右肩上がりが増えていく状況です。この前立腺がんに対して更なる質の高い手術の提供、患者さまの負担軽減を目標として埼玉北部では初となるロボット支援手術機器、ダヴィンチが導入される事となりました。

現在、ロボット支援手術が保険適応となっている疾患は①前立腺がんに対する全摘除術と②腎がんの部分切除術の2つのみ(*)です。そして手術件数としては圧倒的に前立腺がんの手術が多い状況となっています。

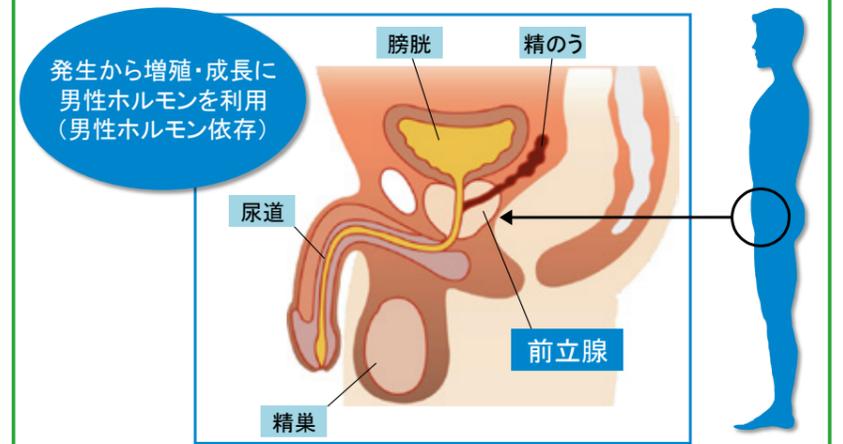
今回は前立腺がんとダヴィンチについて解説したいと思います。(*)先進医療で胃がんや喉頭がん等にも適応が拡がりつつあります。

前立腺がん① そもそも前立腺とは

前立腺がんは文字通り前立腺にできる「がん」ですが、そもそも前立腺とはどういった臓器なのでしょう。

前立腺は男性だけにある生殖器の一つです。ちよ

前立腺って??



ど栗の実ぐらいの大きさで、膀胱の下に尿道を取り囲むように位置しています。

前立腺はその発生から増殖、成長までのすべての段階で男性ホルモンを必要とする「男性ホルモン依存性」の器官である、ということも大きな特徴です。そして皮肉にもその必要な男性ホルモンにより増殖・成長し過ぎて前立腺肥大症を生じる事も、正常前立腺細胞が、がん細胞へと性質を変えてしまう事もあるのです。

前立腺がん② 現状について

もともと前立腺がんは、欧米では男性のがんの中で大変多いがんとして知られています。

アメリカでは、男性のがんの中で「罹患数」は第1位と最も多いがんとなっています。

日本ではまだアメリカほど多くはありませんが、泌尿器科で扱う男性のがんの中では、罹患率、死亡率ともに最も多いのが前立腺がんです。また、将来的には最も増加するがんの一つと考えられており、2020年には肺がんに次いで罹患数の第2位になると予測されています。

前立腺がんは高齢になるほど増える傾向があり、50歳を超えると罹患率は急に高まります。逆に言えば50歳以下では極めてまれです。このことから前立腺がん検診は一般的に50歳以上の男性に勧められています。

検診方法は簡便です。血液検査でPSAという項目を確認することで、前立腺がんの可能性があるかどうか、おおよそ判定できます(がんを根治的に治療するには早期発見・早期治療が重要です。もし一度も検査された事がないようでしたら外来でお気軽にご相談下さい)。

前立腺がんと診断された場合の根治療法には①手術により前立腺を全摘する方法と②放射線治療の2つの方法があります。今回は手術治療について解説します。



地域完結型医療体制へ 向けて。

行田総合病院
副院長・泌尿器科部長
林 暁



本院泌尿器科は最先端の内視鏡システムを導入し、尿路結石治療や前立腺肥大症治療を行い、順調な経過が得られております。

患者さまの増加に伴い平成28年4月から腹腔鏡認定医およびロボット支援手術認定の資格を有する医師2名が加わり、常勤医師が4名となりました。腎がん、腎盂尿管がん、副腎腫瘍、腎盂形成などは低侵襲治療である鏡視下手術を導入し良好な手術経過が得られ、従来の開腹手術に比べ大幅な入院期間の短縮につながったものと思われま

紹介患者さまも増加し、尿管鏡下結石治療も平成28年度は200件を超え、治療成績も良好であることから全国でも有数の治療施設の仲間入りができたと感じております。

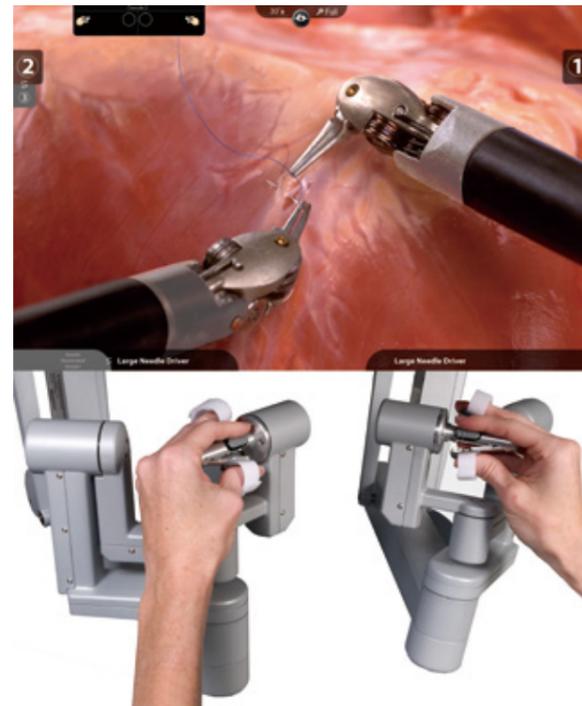
また、前立腺がん検診の普及で前立腺がん診断数が増加し、手術も大幅に増えました。今後も増加が予想される前立腺がん症例に対して十分対応できるように充実させてまいります。

利根医療圏の人口構成は2015年時点で高齢者が2万5000人、2030年には約3万2000人へと大幅な増加が予想されています。それに伴い前立腺がんなどの悪性疾患も増えることでしょう。当院への期待にこたえるため「地域完結型医療体制」への「」に向けて救急医療、癌治療のさらなる充実に努めてまいります。

前立腺がん③ 従来の前立腺手術法

従来の前立腺がんに対する標準的な手術療法は開腹手術でした。おへそ（臍）の下を10〜15cm切開し、前立腺・精嚢腺を摘出、膀胱と尿道を吻合します。

前立腺がん手術は他の手術と異なり、骨盤の奥深くを処理する手術であり、前立腺周囲の血管が豊富に発達しているため時に大出血を来してしまう手術です。今まではご自身の血液を800ml貯血し手術に取り組んできましたが、時に他人血輸血を必要とする場合もありました。また前立腺摘出後に膀胱と尿道を縫い合わせる（吻合）は極めて繊細な手技であり、骨盤が深く狭いような場合は技術的に難易度の高い手技です。



前立腺がん④ ロボット支援手術(ダヴィンチ)について

この出血の多さ、傷の大きさ、膀胱尿道吻合という手技の難しさの全てを解決してくれるのが、5月より稼働する事となったロボット支援手術機器、ダヴィンチです。傷は全部で6カ所となりますが、1つ1つの傷は1〜2cmととても小さく開腹手術と比べ術後の痛みが少なく回復が早いのが特徴です。

また通常の腹腔鏡手術のカメフラでは2D（平面画像）ですが、ダヴィンチの場合は遠近感を伴う3D（3次元立体画像）であること、さらに10倍の拡大視野を得ることが可能であり、狭い骨盤の中でも鮮明に臓器や周囲構造を把握することができます。

そしてロボットの操作アーム（鉗子）は非常に繊細な動きが可能で、術者の動きを忠実に遂行できること、狭い空間での可動域が極めて広いこと、狭い空間での可動域が極めて広いためより確実な手術操作が可能となります。そのため術中出血量は開腹手術と比べ格段に少なく、尿道膀胱吻合といった難易度が高い手技も容易に行うことができます。

さらに、このダヴィンチの特徴である3Dでの10倍拡大視野、ロボット操作アームの繊細な鉗子の動きが可能で、前立腺がん手術の特有の後遺症である尿失禁から回復が早期に期待できる事が報告されてい

ます。

がん制御・コントロールする事が一番重要だとは思いますが、術後の排尿状態をより早期に回復させ手術前の日常に近づけるといった機能面にも大きな効果が期待できます。がん制御と機能温存をかなり高いクオリティで行えるのがダヴィンチです。

今後の取り組み

私自身は2006年からロボット手術を先進的に取り組んでいた東京医科大学病院で研鑽を積むことで、これまで400例以上のダヴィンチ手術を経験してきました。これまでにロボット手術の利点について述べてきましたが、手術の大原則は当たり前ですが安全かつ確実に手術を完遂することです。ロボット支援手術の導入初期はロボット特有の操作などのために手術時間が長くなる事が報告されています。今まで培った知識・技術を総動員し埼玉北部で初となるダヴィンチ手術を円滑に開始し、手術を受けた患者さまから行田総合病院で手術を受けて良かったと感じていただけるように取り組んでいきたいと思っております。



NEWS & TOPICS

2017.3-2017.4

第3回肝臓病教室 新南棟 1F ロビー



2017年4月21日(金)

脂肪肝とサルコペニア

患者さまをはじめ、ご家族、地域の皆さま誰もが参加できる肝臓病教室が第3回目の開催を迎えました。消化器内科・橋本医師をはじめ、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士による講演が行われました。今回初となるOT（作業療法士）による講演では、肝臓病の患者さまに対するリハビリテーションの実演も行われました。ご参加の皆さまからは、「大変勉強になりました」「肝臓について詳しく学びました」などの感想をいただきました。第4回肝臓病教室の開催は10月を予定しています。

第23回 救急勉強会 当院会議室



2017年3月22日(水)

濱田医師が講義を行いました。

行田消防署救急隊からご提案いただいた脳出血での搬送症例を題材にして「吐血との判断で良かったのか?」「脳疾患、消化管出血の関連性」「病院内での経過」など、検討会形式の勉強会となりました。

DMAT CAR ペーパークラフト完成!



2017年4月

小児科を中心に配布中です!

当院 DMAT CAR のペーパークラフトが完成しました。小児科を中心に院内で配布しています。パパママの手を借りないとちょっと難しいけど、細部にまでこだわった完成度が楽しめます。ご家族でチャレンジしてみてください。

新入職員入職式 夢と希望を胸に! ようこそ壮幸会へ!



2017年4月3日(月)

64名が入職。

看護師 24名、看護助手 3名、薬剤師 4名、リハビリセラピスト 13名、臨床工学技士 3名、臨床検査技師 3名、診療放射線技師 4名、社会福祉士 1名、事務スタッフ 8名他、合計 64名の新入職員が入職いたしました。行田市をはじめ埼玉県北部地域の皆さまの健康を守るため、研修や勉強会に積極的に参加して常に学び、医療従事者として誠実・実直に勤務してまいります。

COLUMN

ドクターやナース、コメディカルの日常、大げさにいえば人生観まで。
好評につき、毎号連載中!

「ハンカチは貸すためにある。女性が泣いている時のため、紳士のたしなみだ」

新入職員の皆さん、新しい環境に慣れましたか? 日々頑張っている皆さん、お疲れ様です。

まずは自己紹介。私のいる総務課の業務は経営トップのサポート、契約書や届出などの文書管理、情報の連絡・調整、経費の管理や支払など多岐にわたっています。各部門が円滑に、効果的に業務を遂行できるように動く黒子的な存在とでもいいでしょうか。大きく総務課というと、他にも管轄係、施設ドライバー、事務日直など様々な職種があります。それぞれ細かな仕事でも病院の管理運営には欠かせない大切な仕事だと思います。と、ここまでは仕事の話。

さて、私個人は、血液型はB型、趣味は映画を観ること、ひとり旅（これまで鳥取、長崎、京都、香川・直島、新潟・越後妻有に行きました）、カメラ（恥ずかしながら下手の横好き）です。

何を書こうか迷ったのですが、気分転換にゆっくり映画でも観てみようかと思っている人へ、1本の映画を紹介しようと思います!!

2015年公開『マイ・インターン(原題: The Intern)』という作品です。渋いロバート・デ・ニーロ(代表作:ゴッドファーザーシリーズ)と美しいアン・ハサウェイ(代表作:ブラダを着た悪魔)の2人が主演を務めています。

●あらすじ

アン・ハサウェイ演じるジュールズは、ファッションサイトを経営する会社のCEOとして充実かつ多忙な日々を過ごしていた。仕事も家庭も両立する完璧な女性だが、ある日彼女は大きな試練に直面する。そんな中、社会福祉事業の一環として、彼女の会社には70歳のシニアインターン(社員見習い)としてロバート・デ・ニーロ演じるベンがやってくることになる。年齢も性別も違うふたりはいつしか心を通わせ、ベンはジュールズにとってよき指導者であり親友になっていき、様々なトラブルや危機を乗り越えていく。

この作品はある意味、主人公たちから「働くとはどういうことか」を学べるような物語で、新たに社会人になった人にも、上司や先輩として働く人にもオススメな作品です。

ベンが入社してから最初に「残念ながらあなたに任せる仕事はない」と言われます。しかし人への挨拶、話を聞く姿勢、物の扱い方、そしてゆったりとポジティブに、無理せずできることから始めていくことで徐々に周囲の信頼を得ていきます。人の信頼を得るには一朝一夕ではいかないものですが、周りをよく観察し、自然に溶けこみながら、「自分は何の役に立っているのか」をしっかりと見極めることの大切さを教えられる。またどの年代も自分の年代の価値観を押し付けずに、年上からも年下からも学ぶことはたくさんあるのだということも教えてくれます。人に頼り、頼られることで人としてより一層の輝きが増していくのでしょう。慣れない新生活でちょっと疲れた人に明るくエールを送ってくれる、観た後に前向きになれる作品です。もしよければご覧ください。

タイトルだけは知っているものの、触れたことのない名作と呼ばれる映画や本がまだまだたくさんあります。昔の映画などいろいろな観てみようかと思えます。皆さんもオススメがあればぜひ教えてください!

「人によって言葉はつくり、言葉によって人はつくれる」という言葉があります。

人が言葉というツールを生み出し、自分が話す言葉や人に向けた言葉、自分が人からかけられた言葉、見たり聞いたりした言葉一つ一つが種をまきます。もしも隣の芝が青く見えてしまったときでも、それぞれの庭に人とは違った花がいっぱい咲いていることなのでしょう。クサイことを言ってしまうと。

そして映画にもさまざまな名言や印象的なセリフがあります。紹介した映画の中でも、ロバート・デ・ニーロ演じるベンの「ハンカチは貸すためにある。女性が泣いている時のため、紳士のたしなみだ」というセリフがあります。そんなかっこよさと思慮深さを兼ね備えた素敵な男性になっていきたいものですね...。ってまずはハンカチを持ち歩くことから始めなきゃ(汗)! おあとがよろしいようで。



総務課係長
三木田浩幸

病院管理運営に携わる総務課のプリンス。甘いもの好きな縁の下の力持ち。優しい人柄にそろそろめでたいお話が聞こえてきそう?

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。

●検査科からのお知らせ

LOX-index 脳梗塞・心筋梗塞リスク検査を受けてみませんか？

●患者さまから多いご質問。

Q. どんな人が検査を受けるの？

A. 血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方。高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかっている、動脈硬化が気になる方。40歳以上の方におすすめています。

Q. 検査には時間がかかるのでは？

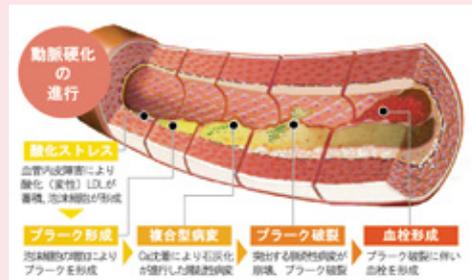
A. 検査方法は採血のみで約10分程度で終わります。検査結果データを解析し、2～3週間後に結果報告書が提供されます。

Q. 検査費用は？ A.12,960円（税込）です。

●LOX-index は、新しい血液検査です。

ロックス・インデックスは、動脈硬化の進行（下図参照）を調べ、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症までを予測できる新しい血液検査です。検査結果で脳梗塞・心筋梗塞のリスクが高ければ、生活習慣（喫煙、過食、過度の飲酒等）、ストレス、運動不足などを見直し、予防対策をとって早い段階からリスクを回避できます。

[行田総合病院検査科]



●地域医療連携室からのお知らせ

持ってて安心！『とねっと』をご存知ですか？



『とねっと』は、埼玉県利根医療圏医療推進協議会が管理・運営を行う医療機関間で診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムです。地域の皆さまが登録することによって、医療情報の共有、緊急時への対応、健康管理への活用にご利用できます。

●お申込みは簡単（無料）

参加同意書に必要事項を記入し、医事課窓口へご提出ください。

※詳しくは地域医療連携室まで。[埼玉県利根医療圏医療推進協議会]

●行田総合病院ホームページからのお知らせ

病院の紹介動画を随時更新しています。

当院のホームページでは、病院の紹介動画を随時更新しています。スマホ・PCなどの端末でぜひご覧ください。

●病院紹介動画コンテンツ

救急センター紹介動画・内視鏡センター紹介動画・泌尿器科紹介動画・医師募集動画・看護師募集動画・リハビリセラピスト募集動画

▶ <http://gyoda-hp.or.jp>

[社会医療法人 壮幸会 行田総合病院ホームページ]

[動画制作：BLESS]

